

「愛知県医療圏保健医療計画」の中間見直し（案）へのパブリックコメントの意見と県の考え方

番号	医療圏	項目	意見内容	県の考え方
1	東三河北部 東三河南部	救急医療等	東三河北部地域、南部地域の救急救命を始めとする医療体制は、ドクターヘリも活用しにくい地理的条件を克服するためにも、隣接する静岡県や長野県との相互に補完し合う連携体制があればよいと思いました。	御意見として参考にさせていただきます。 なお、「東三河北部医療圏保健医療計画」において、他の医療圏の専門医との連携について記載させていただいております（27頁）。 また、「東三河南部医療圏保健医療計画」では、東三河北部圏域からの患者の救急医療確保に関する課題について記載させていただいております（38頁）。
2	全体	周産期医療	性教育、生殖教育が含められたら、様々な社会問題の発生抑制に繋がる気がしました。死亡者数に含まれていない墮胎も。	医療計画は、「地域医療全般にわたる医療体制のあり方を示すもの」としております。 御意見をいただいた内容は、医療体制とは異なる視点であることから、必要に応じて関係機関と情報共有させていただきます。
3	全体		新型コロナウイルス感染症の全球的な蔓延により、陽の目を見ることになったこの分野。もともと遺伝子コピーの失敗で起こる、悪性新生物(癌など)の次世代治療を期待されていたバイオテクノロジーです。 かつて、罹患者への侮蔑の念を込めていたのか”生活習慣病”と呼ばれていた糖尿病も、今では「多因子遺伝子疾患Multifactorial genetic disease」と、上書き更新されています。 治療のずっと前、発病前に遺伝子診断があつて、将来の発病因子を自らが知ることが出来る体制が整えられれば、就労を含めた全生活領域で予防策を講じることが可能になります。 糖尿病発症の可能性の高い人はパテシエを目指さないとか。緑内障も同様の事前診断があれば、失明者数も交通事故も減らせる可能性があります。 ゲノム解析とその活用は、医療・創薬に限らず多様な次世代産業のプラットフォームです。温暖化と長距離高速大量移動時代、感染爆発多発時代にもなったようですし、県内に拠点が複数個所あると好いと思いました。	御意見として参考にさせていただきます。なお、県がんセンターでは、ゲノム医療の実用化を始めとする新しいがん医療の基礎研究及び臨床応用研究など、がん医療に役立つ研究を推進します。
4	全体	救急医療	出掛ける先々で救急車を軽症で呼ばれている。 <以降、ご本人による救急車等の目撃情報を多数掲載。>	御意見として参考にさせていただくとともに、必要に応じて関係機関と情報共有させていただきます。